

次期計画の策定に向けたアンケート調査の実施概要（案）

1. アンケート調査の目的

- ・ 障害者長期計画、障害福祉計画・障害児福祉計画の策定にあたっては、当事者の生活の状況や課題、障害者支援に関するニーズなどを把握するためアンケート調査を実施してきました。次期計画（第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画）の策定においても、この間の生活の状況やニーズの変化、新たな課題に関するニーズなどを把握するため、アンケート方式によるニーズ調査を実施します。
- ・ アンケート調査は、これまで実施してきた調査との継続性に配慮し、障害者手帳所持者や福祉サービス利用者（支給決定者）を対象として実施します。
- ・ なお、より多様なニーズを把握するため、手帳所持者や支給決定者以外で支援が必要な人、強度行動障害や高次脳機能障害がある人、医療的ケアを必要とする人などのニーズを把握するための取り組みも検討し、計画策定にかかる各種の作業と関連づけて取り組んでいきます。

2. アンケート調査の方法

（1）調査の対象者

- ・ 前回の調査（現行計画の策定に向けて令和5年10月に実施）と同様に、障害者支援に関する幅広いニーズを把握するため、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している人、障害福祉サービス等の支給決定を受けている人から、障害の種別や年齢等の割合も考慮して約3,500人を抽出します。
（※）その他の人への調査（前項の3つめの項目）については、次期計画の策定と並行して検討して取り組んでいきます。

（2）調査の実施方法

- ・ 郵送により配付、回収を行う、自記式質問紙法で実施します。
（※）相談支援事業者や居住系サービスを中心とするサービス提供事業者に、利用者の方の求めがあった場合は調査の回答を支援していただくよう依頼します。

（3）調査の実施時期

- ・ 今回の委員会でのご意見をふまえて調査票を決定し、8月末～9月初旬に調査票を発送し、回収、集計した調査結果（中間集計）を次回の計画推進委員会で報告する予定で実施します。

3. アンケート調査の内容

- ・ 前回実施した調査の結果との比較による変化を把握するため同様の設問を行うとともに、新たな課題に関するニーズ等を把握するための質問項目を追加します。

設問項目	前回	今回
記入者・基本情報	・ 記入者(1) 年齢(2)	・ 記入者、年齢
障害等の状況	・ 障害・難病の種別(3) - 手帳の有無、種類、等級・判定(4) - 受給者証の有無(5) ・ 介助や支援が必要なこと(6) - 介助や支援で困っていること(7) ・ 困ったり不安なこと(14)	・ 障害・難病の種別 - 手帳の有無、種類、等級・判定 (※) <u>高次脳機能障害・難病の説明</u> - 受給者証の有無 <u>要介護・要支援認定の有無</u> <u>医療的ケアの要否</u> <u>意思決定支援の要否</u> ・ 介助や支援が必要なこと - 介助や支援で困っていること ・ <u>困ったり不安なこと</u> ・ <u>親なき後の準備の支援の要否</u> ・ <u>余暇の過ごし方・意向</u>
障害福祉サービスの利用	・ サービスの利用状況・希望(8) - 住まい方（現在・今後）(9) - 仕事（現在・今後）(10)	・ サービスの利用状況・希望 - 住まい方（現在・今後） - 仕事（現在・今後） <u>就労選択支援の利用状況・意向</u> <u>計画相談支援の利用状況・意向</u>
障害児支援	・ 力を入れる障害児支援(11)	・ <u>障害児サービス等で充実すること</u>
情報・相談	・ 情報の充足度、役に立つ媒体(13) ・ 相談に関して困ること(12)	・ 情報の充足度、役に立つ媒体 <u>DX化の影響（長所・短所）</u> ・ <u>相談先・役に立つ相談先</u> - 相談に関して困ること
差別・権利擁護	・ 差別の経験、場面、変化(15) ・ 成年後見制度等の利用 (16)	・ 差別の経験、場面、変化 ・ <u>成年後見制度改正の認知</u> - 成年後見制度等の利用
緊急時の課題	・ 緊急時に困ること(17)	・ <u>災害に対する備えの状況・意向</u> - 緊急時に困ること
地域とのつながり	・ 地域の人との支えあい(18)	・ <u>地域の人との支えあい</u>
新型コロナの影響	・ 新型コロナの影響(22)	<u>(削除)</u>
寝屋川市の障害者支援	・ 寝屋川市の評価(19) ・ 優先的に取り組む障害者支援(20) - 障害者自身が取り組むこと(21)	・ <u>寝屋川市の取り組みの変化の評価</u>

() は設問番号

(※) 下線：追加する項目

二重下線：設問の量などをふまえて要否を検討する項目